

高度 I C T 人材育成の必要性について（整理に当たっての視点）

【第 1 の考え方】

I C T は、パソコン、携帯機器、自動車、家電、産業機器等から産業・行政・社会の基幹システムに至るまで活用され、我が国の中核技術として、産業全体、及び国家の競争力を支えるもの。我が国産業の国際競争力向上のためには、マーケットメカニズムに頼るのではなく、I C T を活用して高い付加価値を創造できる高度な I C T 人材を育成することが必要。

このため、特別な手段により高度 I C T 人材の育成を進めることが必要。

【第 2 の考え方】

我が国 I C T 産業においては、I C T の製品・サービスの評価の難しさ、委託開発中心、多階層の下請構造等、マーケットメカニズムが働きにくい構造がある。これに加えて、人材育成側にも、人材活用側のニーズへの対応が不十分であり、全体として、必要な人材がマーケットメカニズムにより供給されにくい構造となっている。

このため、マーケットメカニズムが有効に機能することを妨げている要因を取り除き、高度 I C T 人材の育成が自律的に行われるようにすることが必要。

【第 3 の考え方】

I C T 人材の需給調整についてマーケットメカニズムは機能していないわけではないが、I C T の技術進歩等があまりにも急速で、必要な人材の育成が追いついていない状況。この時間的なラグを解消するため、当面、特別な手段により、高度 I C T 人材の育成を進めることが必要。